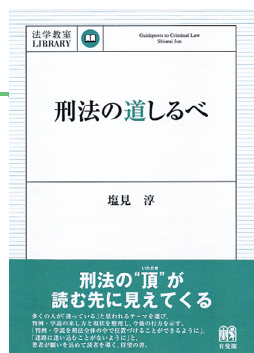


刑法の道しるべ

塩見 淳

2015 年 8 月発売 / 274 頁 / 本体 2200 円 + 税
A5 判 / 並製



編集
担当者
から

読者の皆様、自分で導き出した解答に対し、どうしてその説明や結論になったのか等、判例や学説を刑法全体の中で位置づけることができません、苦しんだことはありませんか？是非、本書を手にとってみてください。塩見先生が「迷路に迷い込むことがないように」との願いを込めて導いてくださいます。

項目には、著者が学部や法科大学院の授業の経験や答案から、多くの人が迷っているのでは、と感じたテーマ（下記 Index 参照）が選ばれています。また、古くから直近までの豊富な文献と、多くの判例を整理し、今後の行方をも示します。特に学説については、古い議論から説き起こして、何が問題どのように議論されてきたのか、という理論が展開されています。

本書を読んだ後は、判例や学説を刑法全体の中で位置づけることができるようになり、さらに論理的に結論を導く思考能力も養われ、きっと苦しみや迷いの雲が晴れることと思います。そして、その先にはまさしく「刑法の頂」が見えてくるにちがいありません。（田中）

Index



好評連載の単行本化にあたり、新たに 3 章（*の章）を追加しました。

〔総論〕

- 第 1 章 法的因果関係
- 第 2 章 作為義務の成立根拠
- 第 3 章 侵害に先行する事情と
正当防衛
- 第 4 章 錯誤に基づく被害者の同意
- 第 5 章 故意における事実の認識
- 第 6 章 間接正犯・不作為犯の
着手時期 *
- 第 7 章 過失犯の共同正犯
- 第 8 章 共犯関係からの離脱

〔各論〕

- 第 9 章 住居侵入罪の保護法益・
「侵入」の意義 *
- 第 10 章 奪取罪における
不法領得の意思
- 第 11 章 不法原因給付と
詐欺罪・横領罪
- 第 12 章 公共危険犯としての放火罪
- 第 13 章 偽造の概念 *
- 第 14 章 賄賂罪における職務行為